

(株)日立製作所「日立総合技術研修所」の H30公開カリキュラムで技術力を高めよう!!

平成30年8月
(公財)日立地区産業支援センター
理事長 梶山 隆範

受講申込は別紙の申込書により、No1とNo16のみ9月11日(火)までにお願ひします。
それ以外は講座開始日の1か月前までにお願ひします。
送付先:(公財)日立地区産業支援センター FAX 0294-25-6125

’18/下【日立総合技術研修所】公開講座の内容(全25講座)

* 本講座は日立製作所の社内研修を日立地区の中小企業に開放してもらっているものです。是非、活用ください。

No	区分	コース No	Global ID	講座名	会場	回次	開始～終了	日数	費用 (k¥)	定員	募集枠	相互研修	宿泊	研修のねらい	研修内容	受講対象	
1	設備保全電気	3541	HIT-SC3541K00	実験・実習で学ぶ電子回路基礎	勝田	13	10/9～10/12	4	95	8	2		(通学)	実習を中心に理論と自らの確認を行うことにより理解を深めます。	実習を中心に理論と実際の確認、PCによるシミュレーションを実施。	電気の基礎を理解している方で実践的な電子回路の理解を深めたい方、若手の設計初心者、生産技術、品質保証の技術者など	
2	設備保全電気	3550	HIT-SC3550K00	初心者のための電気・電子入門研修	勝田	81	1/28～2/1	5	100	10	5	○	○	電気・電子の基礎知識を必要とする方に、分かりやすく演習・実習を中心に初歩から学習します。実験・実習を織り交ぜ広く浅く学習します。	・電気の基礎と安全 ・電気回路と磁気の基礎 ・テスタ・オシロスコープの使い方 ・電子回路の基礎と実習 ・電動機運転制御盤の配線実習	基本的な電氣的知識を身に付けたい方(新人でも可)、電気の世界から遠ざかっていたため基礎を復習したい方	
3	生産	3360	HIT-SE3360K00	海外出張者のための現場で使える英語	勝田	19	10/30～11/1	3	60	10	3	○	○	海外出張、赴任時の現地サイトでの技術説明から海外生活まで、場面場面を想定した簡単な会話、海外での注意点を習得できます。	海外出張、赴任時の現地サイトでの現地指導、技術説明および海外生活の簡単な会話の実施	生産、技術系の海外出張、海外赴任予定者	
4	設備保全電気	3600	HIT-SE3600K00	トラブルシューティング総合講座	日立	105	12/10～12/21	10	200	8	4		○	自動化設備一般を扱う人が知っておくべき制御と電気の基礎的事項を、基礎から体験習得します。豊富な実習を通じ実機の修理・改善への応用力を身につけます。	電気と安全、テスタの使い方、シーケンス制御のしくみ、PLCの機能、回路設計入門、トラブル診断の方法など(3550、3601、3760の主要内容を含む)の他、グループ製作実習あり	No.3550,3600、3760を効果的にまとめた研修。PLC使用装置の配線と修理の実習および独自装置の設計製作実習。	
5	設備保全電気	3601	HIT-SE3601K00	トラブルシューティング(制御系基礎)	日立	35	10/15～10/19	5	100	12	3		○	電気関係のトラブルに対応できる基礎知識と診断方法を実際に体験しながら習得します。	・リレーシーケンス入門 ・テスタの使い方 ・トラブルシューティング基礎 ・制御盤配線実習 ・故障診断修理実習	自動機械設備等の運転・保守改善に携わる方(新人でも可)	
6	設備保全電気	3603	HIT-SE3603K00	製造・生産技術部門新人研修(電気編)	日立	7	12/10～12/21	10	200	8	4		○	製造現場で必要となる電気制御に関する基礎的事項を、机上配線や実機実習を通して体系的に理解し効果的に身に付けられます	No.3760、No.3550、No.3601の主要内容 ・リレーシーケンス/回路設計入門 ・トラブルシューティング基礎と実習 ・自動機に見立てた作品をグループ毎に考案/製作する総合実習	製造・生産技術部門の新人(非電気系出身者を歓迎)	
7	自動化	3612	HIT-SE3612K00	ロボットを中心としたシステム構築技術	日立	37	1/21～1/25	5	100	6	ご要望 あれば 検討	○	○	ロボットとセンサ、ハンドリング機器等の周辺装置との連携、複数ロボットの協調動作を実習中心に学びます。	・光電センサ、接触センサ、視覚センサの活用 ・コンペア、ポジションとの連携 ・シーケンサの活用	ロボットの合理化、操作、運転、保守の担当者(経験3～10年)	
8	設備保全電気	3635	HIT-SE3635K00	設備稼働率向上(初級)(TPM入門)	日立	82	3/11～3/15	5	100	10	2	○	○	設備稼働率向上のため何をすべきかをTPM手法により清掃点検を通じて修得できます	TPMの基礎と社内外事例、潤滑・油圧・駆動系・電装系の点検と実習、チョコ停・故障ゼロの進め方	製造設備を使用している全技能者でTPM活動についてグループの中核となる方	
9	設備保全電気	3641	HIT-SE3641K00	設備稼働率向上(中級)(故障予知編)【下期のみ】	日立	28	10/29～11/1	4	80	8	2	○	○	設備を故障させないための保全技術を振動診断や油診断を例に実習を通して学べます	設備診断概論、診断機器と活用法、計画保全の進め方、設備診断装置による故障予知実習	設備診断を担当される方。TPMグループリーダーまたは設備稼働率向上(初級)研修を受講した方	
10	自動化	3760	HIT-SE3760K00	シーケンスコントローラ活用入門	日立	84	11/5～11/9	5	100	10	2		○	生産設備をはじめ、試験装置や実験設備などの制御に使用されるPLCの概要を実機を用いて基礎から習得できます。	シーケンス制御の基礎 ・PLCの構成と配線、基本操作 ・基本回路要素の働き ・プログラミング演習、課題実習	PLCの基本操作・応用知識を必要とする初心者(新人でも可)	
11	自動化	3760	HIT-SE3760K00	シーケンスコントローラ活用入門	日立	85	11/26～11/30	5	100	10	6		○				
12	自動化	3760	HIT-SE3760K00	シーケンスコントローラ活用入門	日立	86	1/21～1/25	5	100	10	9		○				
13	自動化	3777	HIT-SE3777K00	PLC回路構築法と標準化	勝田	16	2/13	1	20	16	4		-	No.3779の構築法部分を抜き出し、実施実習をすべて割愛したダイジェスト版。(PLCメーカーや機種に依存しません)	・順序回路標準パターンと3要素への対応 ・複雑な制御仕様の表現 ・条件型制御回路の設計 ・全制御階層の視覚化	メーカー・機種・個人に依存しない信頼性を確保したい人 (PLCの経験者)	

- ★ 2012年度より、会場が日立と勝田の2ヶ所になっておりますのでご注意ください。
- ★ 受講費用(単位:千円)には別途、消費税がかかります。

【相互研修、宿泊、テキストについて】
1. 相互研修・・・グループごとの研修あり。(一部夜間含む)
2. 宿泊・・・全て宿泊研修(但し、1日研修を除く)
3. テキストは持ち帰り可(但し、一部不可となる場合もあり)

【お問い合わせ先】
申し込み窓口: 公益財団法人日立地区産業支援センター 担当:六田
Tel 0294-25-6121 / Fax 0294-25-6125
研修内容等に関すること:(株)日立製作所 総合教育センタ 企画部 茨城管理グループ(日立総合技術研修所) 担当:川崎
Tel 029-353-3098(代表) / Fax 029-353-3222
補助金に関すること:日立市産業経済部商工振興課工業振興係
Tel 0294-22-3111(内)471 / Fax 0294-24-1713

(株)日立製作所「日立総合技術研修所」の H30公開カリキュラムで技術力を高めよう!!

受講申込は別紙の申込書により、No1とNo16のみ9月11日(火)までにお願ひします。
それ以外は講座開始日の1か月前までにお願ひします。
送付先:(公財)日立地区産業支援センター FAX 0294-25-6125

'18/下【日立総合技術研修所】公開講座の内容(全25講座)

* 本講座は日立製作所の社内研修を日立地区の中小企業に開放してもらっているものです。是非、活用ください。

「日立総合技術研修所」の研修はここが違います!!

1. 経験豊富な講師陣 ⇒ 現役技術者が工場から派遣されてきます
 2. 豊富な実習 ⇒ 座学だけでは現場力は身に付かない⇒「実習を重視」
 3. 宿泊型研修 ⇒ 研修生間で理解力・対応力を高める ⇒ 「宿泊してグループ討議」
 4. 受講料は、地域限定価格! しかも、宿泊費と食事代(3食分/日)が含まれている!!
- ※本研修は、お申し込み後のキャンセルは原則としてできません。お気を付けてください。

No	区分	コース No	Global ID	講座名	会場	回数	開始～終了	日数	費用 (k円)	定員	募集枠	相互研修	宿泊	研修のねらい	研修内容	受講対象
14	自動化	3779	HIT-SE3779K00	PLCプログラミング応用	日立	45	2/18～2/22	5	100	6	3		○	暴走型のトラブルを起こさない、あらゆる規模と内容の制御を高い信頼性で実現する、個人差の出ない回路構成法を実習にて習得します。	PLC基礎テスト/プログラミング・制御回路の構築法(順序型回路、制御仕様表現、条件型回路、他)・総合実習	自動化設備の開発・保守・改善をする方でPLC経験者
15	自動化	3779	HIT-SE3779K00	PLCプログラミング応用	日立	46	3/4～3/8	5	100	6	5		○			
16	改善	3030	HIT-SF3030K00	実践的問題解決技法	勝田	57	10/2～10/4	3	60	20	4	○	○	職場の問題を発見し、自ら解決していく「主体的な人材」を養成します。	問題の発見・掘り下げ・優先順位決定、原因の追求・真因把握、解決案の検討・評価をグループ討議を通して総合的に体験	製造、品証、設計のリーダークラス
17	改善	3030	HIT-SF3030K00	実践的問題解決技法	勝田	58	12/18～12/20	3	60	20	6	○	○			
18	改善	3105	HIT-SF3105K00	作業改善技法研修	勝田	109	11/26～11/30	5	100	48	10	○	○	発想技法を習得し、作業改善をどんどん進められるようになります。	・IEと改善 / 創造性概論 ・アイデア発想技法 ・作業観測と分析 ・発想技法の活かし方とポイント ・改善実習 / 発表会	現場のリーダー、指導的立場の人、現場技術者(経験3～10年)
19	改善	3115	HIT-SF3115K00	新QC手法	勝田	90	1/23～1/25	3	60	30	6	○	○	小集団活動で必要な実践的手法を学び小集団のリーダーが務まる人を養成します	新QC手法とは、親和図法、連関図法、系統図法、マトリックス図法、グループ別討議	現場のリーダーとして育てたい方
20	改善	3121	HIT-SF3121K00	技術・技能者のための基礎IEと現場活用術研修	勝田	39	2/5～2/8	4	80	20	10	○	○	時間、動作、工程の問題を発見、解決できる人材を、講義と演習を交えて養成します。IE初心者がIEの基礎を理解することができます。	・IE概論 ・時間分析と演習 ・動作分析と演習 ・発表会 ・工程分析と実習	設計技術者、生産技術者、製造技術者(新人でも可)
21	改善	3135	HIT-SF3135K00	作業改善のための治工具・雇の作り方研修	勝田	60	11/12～11/16	5	100	24	6	○	○	図面が読めて書ける人材、治具や雇を提案し具体化できる現場マンを養成します。	治具、雇の作り方の基本、図面の書き方の基本、CAD実習、治具、雇製作図の実技演習、ビデオによる治具、雇の提案演習	現場のリーダー、指導的立場の人、現場技術者(経験3～10年)
22	人間関係	3201	HIT-SF3201K00	やる気を引き出すコミュニケーション	勝田	28	10/24～10/25	2	45	20	4	○	○	相手のやる気を引き出し、職場の活性化を図る。	・自分を知る ・コミュニケーションの本質 ・やる気を引き出すコミュニケーションのポイント ・ロールプレイ	職場の人間関係の円滑化とやる気の向上を図りたい方
23	人間関係	3201	HIT-SF3201K00	やる気を引き出すコミュニケーション	勝田	29	1/16～1/17	2	45	20	6	○	○			
24	人間関係	3203	HIT-SF3203K00	現場のためのコミュニケーションの基礎	勝田	12	1/8～1/11	4	80	12	5	○	○	心のふれあうコミュニケーションの大切さを理解し、具体的な接し方が身につきます	人間関係の基本、コミュニケーションの基本、部下を理解し指導するための講話	職場リーダークラス
25	人間関係	3207	HIT-SF3207K00	現場のための人間関係と自己管理	勝田	7	12/25～12/28	4	80	30	10	○	○	人間が本来もっている感情、考え方を学び、職場における人間関係をコントロールする力が得られます	人間関係の基礎、職場問題の処理、欲求不満とその処理、誤解を避けるには、グループの扱い、監督者としての自己管理	監督者、職場リーダークラス

- ★ 2012年度より、会場が日立と勝田の2ヶ所になっておりますのでご注意ください。
- ★ 受講費用(単位:千円)には別途、消費税がかかります。

【相互研修、宿泊、テキストについて】

1. 相互研修・・・グループごとの研修あり。(一部夜間含む)
2. 宿泊・・・全て宿泊研修(但し、1日研修を除く)
3. テキストは持ち帰り可(但し、一部不可となる場合もあり)

【お問い合わせ先】

申し込み窓口: 公益財団法人日立地区産業支援センター 担当: 六田
Tel 0294-25-6121 / Fax 0294-25-6125

研修内容等に関すること: (株)日立製作所 総合教育センタ 企画部 茨城管理グループ(日立総合技術研修所) 担当: 川崎
Tel 029-353-3098(代表) / Fax 029-353-3222

補助金に関すること: 日立市産業経済部商工振興課工業振興係
Tel 0294-22-3111(内)471 / Fax 0294-24-1713